

◇12月の代橋・信施奉献先

▽世界エイズデー（1日）▽

▽野宿生活者支援のため（Ⅱ）

▽日本聖書協会の働きのため

▽難民・移民労働者のため

◆逝去

司祭ダビデ塚田理師

東京教区退職司祭、11月15

日、スイスの自宅で逝去（86

歳）

葬送式は、ご遺言により家

族葬で12月10日に聖オルバン

教会にて執り行われました。

同師の靈魂のパラダイスに

おける光明と平安ご遺族への

主の豊かな慰めが限りなくあ

りますように心よりお祈りい

たします。

◇東京教区再編成準備室報告

（12月9日）

第2回再編成懇談会報告

・教会、礼拝堂夫々に、温度差

理解度、認識の相違があるが、

前回より教区再編成に関心が

深まり、話し合える雰囲気が出てきた。

・教区全体での懇談会開催

の要望、再編成全体のスケ

ジュールについて等、多くの

質問及び意見を戴いた。

教区組織再構築部会報告

・組織的なフレームワークの

提示（3月）に向け、教区事

務所についての分析、委員会

制度についての考察を進めて

いる。

宣教・牧会エリア部会報告

①第2回再編成懇談会の記録

を各教会・礼拝堂に配布予定

②第2回再編成懇談会の

記録を分析し、総括文書を作

成する予定 ③設置検討予定

の来年3月以降の新委員会に

おけるエリア体制に関するビ

ジョンと任務を確認していく

その他

・エリア体制についてのこれ

までの議論の流れと来春から

の人事体制についての、その

両者の関係については、教区

主教より十全な説明が必要と確認

・教区再編成についての信徒

全般の理解を深める為にも、

教区ニュースに、コラム記事

等の連載の提案

◇正義と平和協議会・運営委

員会報告

（12月10日）

協議会

・運営委員の選挙を行い、4

名の委員と次点の委員1名

が選出された。今後、許諾

可否の交渉を進め、正式に

決定する。

・各加盟団体より活動および

来年度の予定などの報告がな

された。

運営委員会

・生野センターに対する支援

金について協議検討

・「新しい聖地旅行」（来年7

月実施予定）について協賛す

ることを承認

（次回1月19日…池袋聖公会）

◇堅信受領

12月11日

▽天野 洋▽石川 貴子▽荻原

愛子▽荻原繁久▽佐藤 鈴代

▽真田 琴子▽譚 世佳▽留奥

美希（聖ルカ）

12月11日

聖アンデレ主教座聖堂

▽黒瀬 寛佳▽笠原 陽子▽笠

原 悠真▽大同 真紀子▽川崎

葉子（聖アンデレ）▽白石

直央（三光）稲生 久美子（清

瀬聖母）

▽ランチタイム・パイプオル

ガン・コンサート

今週・来週の予定
12月18日～31日

18	(日)	降臨節第4主日
21	(水)	教役者レクイエム (聖アンデレ主教座聖堂) 教区資料保全委員会
24	(土)	降誕日前夕
25	(日)	降誕日
30	(金)	～1月6日 (金) 教区事務所休業

日時…12月21日(水) 12時20分～50分(入場無料)

場所…神田キリスト教会

演奏…和田純子

曲目…「いざ来ませ、異邦人の救い主よ」(N・プルーンス)

▽クリスマスコンサート

日時…12月25日(日) 14時～

場所…真光教会

第1部 真光教会聖歌隊

第2部 ソプラノ独唱とピアノ演奏

▽顕現日 祈りの集い

「真実の歴史を伝える」

―キリスト者の愛の世直し―

日時…2017年1月6日

(金) 18時半～20時半

場所…聖バルナバ教会

お話…宋富子(ソフジャ)氏

(文化センター・アリアン副理事長、在日大韓基督教会川崎教会

名誉長老、高麗博物館名誉館長)

主催…「女性」が教会を考え

る会・東京

◆とこしえの平安

12月13日 矢崎 善規(83)

三光

「カパティラン・パートタイム募集」

カパティランではパートタイム(有給)の活動スタッフ1

名と事務局員1名を探してい

す。勤務日は週2日以上。そ

の他待遇条件などはカパティ

ランオフィスまでお問い合わせ

わしてください。連絡先TEL 03

(3432) 6449

「冬期休業・休刊のお知らせ」

・教区事務所

12月30日(金)～1月6日(金)

休業いたします。1月10日

(火)より新年の業務開始

・教区ニュース

2017年1月1日号、8日号を休刊します。

◇堅信前陪餐Q&A ⑧

Q 22…祈禱書の言葉や聖歌集の歌詞は変わるのででしょうか。

A 22…この改訂が実現することになれば、現在の『日本聖公会祈禱書』の285頁および294頁にある「堅信を受けた者、またはその準備を終えて主教から特別の許可を受けた者は、陪餐することができ。」を削除することになります。将来的には洗礼や堅信の式文が、その意味や意図をより明確にする方向で改訂されることとが望ましいと考えます。

聖歌の歌詞も重要です。もしも「堅信を受けていなければ陪餐できない」という内容を明確にしている歌詞があれば改訂も必要ですが、現在の『日本聖公会聖歌集』の「入信の式」の聖歌に、特にそのような歌詞

はないと思います。むしろ堅信式の際に「キリスト者の責任」や「宣教」等の聖歌を用いる選択肢が広がるかも知れません。それにしても、洗礼、堅信、聖餐に関わるさらにふさわしい聖歌が創られていくことは願わしいことです。

法規や統計表との関係は

Q 23…「現在受聖餐者」の定義はどのようになるのでしょうか。

A 23…現在受聖餐者等の定義が変わることになりますから、それについては法憲法規委員会が検討し、次期定期総会に議案として提出される予定です。

Q 24…堅信を受けていることが、教会委員や教区会代議員の選挙権・被選挙

権を有すること、また聖職候補生等の志願に必要でしょうか。

A 24…必要です。堅信を受けるということは、仕えるためにこの世界に遣わされ、自分の意志で教会に責任を持つことを意味します。ですから、問いにあるような事柄については、堅信を受けていることが求められます。

「堅信前の陪餐」を巡るQ&A
2015年4月1日発行
作成…日本聖公会礼拝委員会
監修…日本聖公会主教会
発行…日本聖公会管区事務所
東京都新宿区矢来町 65